

# 令和4年度地域運動部活動推進事業

## 休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書

自治体名	新潟市教育委員会 担当課：教育委員会学校支援課 電話番号：025-226-3261
------	--

### 1. 事業の概要について

#### 1.1 基本情報（令和4年度4月末時点）※県内の公立・私立中学校の合計

① 中学校数	61校	② 生徒数	19,810人	③ 部活動数	11,697部活
--------	-----	-------	---------	--------	----------

#### 1.2 地域における現状・課題

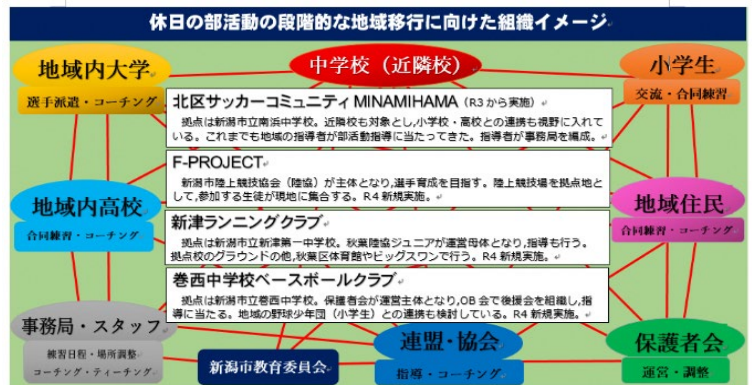
- ・ 休日の部活動指導を外部指導者に依頼するにあたり、専門的知識のある人材の確保や指導者への謝礼等、運営母体の構築や組織編成が難しい。
- ・ 学校によっては生徒数の減少に伴い、部活動が設置できなかつたり単独校でチームを組むことが厳しかったりするケースもあるため、学校の枠に捉われない持続的で広範な活動が求められる。
- ・ 中学生数や実施種目等が区や学校によって違いが大きいいため、一律同じ方法で地域移行を進めることが難しい。

#### 1.3 実践研究における取組目標

- ・ 地域人材を活かした運営母体の組織と、管理運営の在り方を明確にする。
- ・ 地域部活動による活動を通して、校内部活動の質的な向上に対する生徒の要望に応える。
- ・ 顧問の時間外勤務時間を短縮し、心理的負担を軽減する。

#### 1.4 実践研究の運営体制

- ・ 各団体が、地域人材や施設・環境等の物的・人的財産を生かし、参加生徒の技能向上、地域や他団体との関わりながら事業を推進する。
- ・ 教育委員会は、各団体の実施状況を視察等により、活動の様子や生徒・指導者の思いを聞き取り、助言する。



### 2. 地域連携や地域移行の推進に向けた体制整備の取組について

- ・ 在り方検討委員会・・・令和4年度事業開始時に、市P連会長、教職員組合執行委員長、校長会長、市中体連会長、他関係者と地域移行に関する情報交換を行った。前年度の実施状況を把握するとともに、課題や疑問点、要望等を聞く機会を設定し、情報共有を図りながら取組を進めていくことを確認した。
- ・ 準備・運営委員会・・・各団体の代表者と全体、または、個別で事業内容等の検討を行った。
- ・ 関係課ミーティング・・・関係課の課長による協議を定期的に行った。課題となっていた「練習場所・時間帯の設定」「鍵の解錠・管理体制」「兼職兼業に関する情報提供」「学校開放との連携」等について検討を行い、令和5年度の制度構築、推進協議会の設立、具体的実施に繋いでいく。
- ・ 委員会検討会議・・・市長部局（スポーツ振興課・文化政策課）を交え、組織づくりを進めてきた。新潟市スポーツ協会、市吹奏楽連盟等、関係機関との情報交換の機会ができた。  
市の全体計画として、第1段階で、学校が主体となり、学区内の人材を活用して地域運動活動・文化活動の運営主体や指導者、規定等を検討する。第2段階で、市長部局等が各種目・団体の協会や連盟等に指導者等について情報提供していく。第3段階で、双方のマッチングを図っていく。
- ・ 意識調査・・・・・・・・生徒・保護者等に地域移行に関するアンケートを実施した。（生徒 5,314名、保護者 2,677名）  
【生徒】「地域運動活動等に参加したい」45%。「分からない」34%となった。さらに周知を図っていく。全体として「専門家から学びたい」「うまくなりたい」という回答が多い。目指すものとしては、「県や全国レベル」31%。「競技力の向上」37%。「友達とのレクリエーション」22%と、生徒のニーズは多様であり、運営主体は活動の目標（目指すレベル）を明確に示す必要がある。  
【保護者】「地域運動活動等への参加は本人に任せる」60%。「参加させたい」29%となった。実施場所や現地までの送迎、受益者負担の在り方といった課題が挙げられ、対応を検討していく。

### 3. 実践研究校における取組について

#### 3.1 実践研究校情報

① 実践研究校数	域内全 57 中学校・中等教育学校のうち、20 校程度の生徒が実践研究に参加
② 実践研究に取り組んだ部活動数	4 部活（団体）
③ 種目	サッカー、陸上競技（2 団体）、軟式野球

《主な取組例（1）》…新潟市立新津第一中学校、新潟市立新津第二中学校

① 運営主体	新津ランニングクラブ		
② 種目	陸上競技	③ 参加者数	51 人
④ 活動日	土曜日、日曜日、祝日	⑤ 活動場所	学校グラウンド、県スポーツ公園等
⑥ 指導者人数	5 人	⑦ 謝金単価	半日 1,100 円、全日 3,300 円
⑧ 指導者属性	一般財団法人新潟陸上競技協会秋葉陸上競技協会、教職員		
⑨ 参加会費の有無・金額	徴収あり（1 人あたり：1,450 円/年 保険加入費として）		

《主な取組例（2）》…新潟市立巻西中学校

① 運営主体	巻西中学校ベースボールクラブ		
② 種目	軟式野球	③ 参加者数	25 人
④ 活動日	日曜日	⑤ 活動場所	巻西中学校グラウンド
⑥ 指導者人数	1 人	⑦ 謝金単価	1,600 円/時間
⑧ 指導者属性	野球部保護者会で OB 会を組織。OB 会から指導者（地域の指導者）を出す。		
⑨ 参加会費の有無・金額	徴収あり（1 人あたり：1,450 円/年 保険加入費として）		

#### 3.2 参加者の声（生徒、保護者、教師、指導者等）

- 〈生徒〉
- 他校の生徒と一緒に活動できて楽しい。もっと競技の楽しさを感じたい。
  - 土日の活動で専門的なことを教えてもらい、普段の部活動でそれを生かすイメージで練習に取り組んでいる。
  - 専門的なことを教えてもらっているのも、もっと技能を向上させたい。県大会や全国大会に出場し入賞したい。
  - ▲ 他校との交流は嬉しいけど、学校単位で試合に出たい。
  - ▲ 友達とレクリエーション的な活動をしたい。
- 〈保護者〉
- 子どもが一生懸命取り組める場があってありがたい。専門的なことを学んでいるのでうまくなっている。
  - 人数が少ない中学校なので、他校と関わりをもててよい。視野が広がった。
  - 休日に自分達のために時間を作ってくださっている事への感謝の気持ちが生まれ、家でも練習するようになった。
  - ▲ 指導者によっていろいろな考え方があり、教えることもそれぞれで子どもが困っている。
- 〈教師〉
- 子どもたち同士の多様な関わり方が出てきて向上心も増した。それらにともない指導者のモチベーションも上がった
  - 「教えたい人が教え、やりたい選手がやる」という win-win の活動ができてきている。働き方改革となっている。
  - ▲ スタッフそれぞれの価値観が違いため指導方針やチーム運営の在り方の共有が難しい。
  - ▲ スタッフの意思疎通を図ることが難しく、調整することに困難がある。
- 〈指導者〉
- 子どもたちの成長が楽しみ。子どもたちの競技力の向上、新潟県の競技力の底上げにつながる。
  - 参加している生徒の意識の変容、記録の向上から得られる喜びを、他の指導者や保護者と共有できる。
  - ▲ けがへの対応（他校性の場合）に不安がある。
  - ▲ 今後、受益者負担となるので、集金額・方法を検討する必要がある。市には、施設の減免も考慮してほしい。

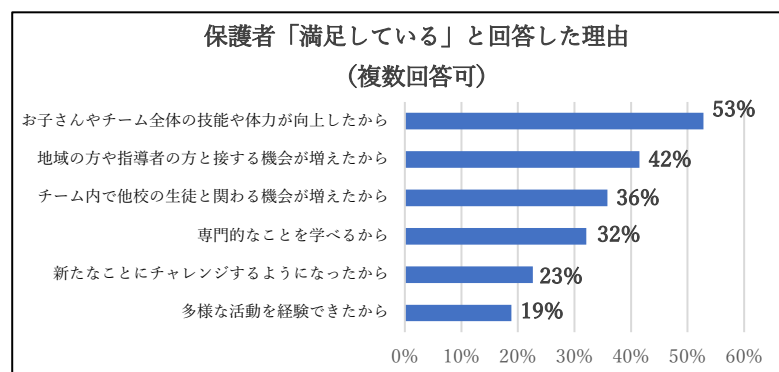
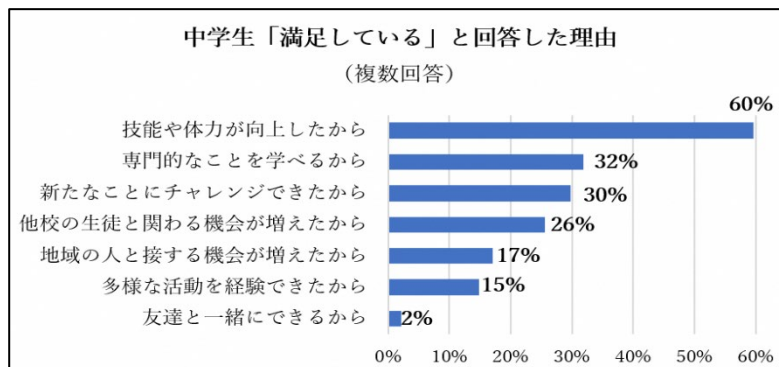
#### 3.3 各実践研究校での取組を通じて挙げた課題や解決方法、取組において特に工夫した点

- ・ 外部指導者と顧問の間で指導方針の違いがあったが、生徒は地域運動活動と部活動をそれぞれ「習得の場」「習得したことを生かす場」と目的をもって取り組んでいた。意識調査や情報共有の重要性を再確認した。
- ・ スタッフの日程調整や選手への連絡はカレンダーアプリを活用することで、スムーズな連絡体制を築くことができた。
- ・ 消耗品や大会参加費等、事業費の用途について、委員会で個別に相談を受けるようにし、活動のサポートを行った。
- ・ 事業開始の時期に、各団体の実際の活動の様子を視察し、運営の実態や指導者との情報交換を行った。

## 4. 実践研究の成果と今後の課題

### 4.1 実践研究での検証から得た成果

- 今年度、本市で行った4つのモデル事業で運営主体となったのは、地域の指導者、市・区陸上競技協会、部活動保護者会であり、どの団体も指導者間で密に連携を図るよう心掛け、円滑な活動実施を目指してきた。また、指導に当たったのは、地域の指導者、陸上競技協会、兼業願が受理された教職員、部活動OBの方々に、生徒・保護者ともに、活動や指導内容に高い満足度を示している。
- 本事業に参加した生徒の意識調査からは、85%の生徒が「(とても)満足している」と回答した。理由として、「技能や体力が向上したから」(60%)、「専門的なことを学べたから」(32%)等の肯定的回答(複数回答可)が挙げられた。(右図参照)
- 保護者からは、「(とても)満足している」との回答は89%と高く、「次年度、地域運動活動に参加させたい」と回答した人は83%で、「検討中」と答えた17%を大きく上回った。「参加させたくない」と回答した人はいなかった。
- 指導者からは、「(とても)満足している」との回答は79%であった。その理由として、「生徒個人の記録の向上」「専門的知識の習得」「他校の生徒や地域の指導者との良好な関わり」「新潟県の子どもたちの競技力の底上げになる」等が挙げられた。反対に、課題としては「指導者の負担増」「金銭面の確保(受益者負担の理解の浸透)」「けがの不安」「活動場所の確保」等が挙げられた。



### 4.2 地域移行における今後の課題と対応

#### 【関係者との連絡調整・連携体制の構築方策】

地域運動活動・文化活動推進協議会を設定し、有識者・関係者とともに協議を行ったり、モデル事業の進捗状況について情報共有したりしていく。また、モデル事業を行っている団体の代表から集まってもらい、代表者会議を設定し、情報交換の場を設け、事業運営の工夫・改善を目指す。

#### 【運営主体・指導者の確保方策】

現在、学校が学区内で運営主体や指導者を発掘・確保することが可能か検討を進めている。中には、近隣校とともに準備を進めている部活動、保護者会等もある。今後、各種目・活動の協会・連盟に指導者の派遣や組織作りが可能かどうか、連絡協議会を立上げ、検討を進めていく。

#### 【地域移行に関する情報提供】

これまで、地域移行に関して、本市の方針を各区の教育ミーティングや市スポーツ協会理事会等で伝えたり、市PTA連合おたよりや学校からのチラシ等で周知を図ったりしてきた。次年度、これまでのモデル事業の成果と課題や、新規事業の実施状況等について情報を発信していく。

#### 【困窮世帯への支援方策】

令和5年度、就学援助世帯を対象に、地域運動活動・文化活動に係る保険加入の費用負担を支援する。家庭の経済状況で地域運動活動等に参加できなくなることはないよう、どの子ども安心して希望する活動に取り組める仕組みを構築していく。

#### 【地域運動活動・文化活動の普及状況の把握】

各校に地域運動活動・文化活動への移行の実態や進捗状況、今後の実施予定等を調査し、未実施校の具体的な参考資料となるよう、集約していく。

#### 【地域特有の課題への対応策】

区や種目によっては、参加者が集まることが困難なケースも想定される。学校間の距離がある地域からはバス巡回の希望も聞かれる。地域の実態に応じた方法を模索し、検討材料としていく。

## 部活動の地域移行に関するアンケート【保護者】結果

◇実施日：令和4年12月8日（木）～19日（月）

◇対象：新潟市立中学校、特別支援学校1、2年生の保護者（回答は学校・個人の任意による）

◇実施数：49校 2,677名

◇方法：質問紙（アンケートフォーム）にて回答受付。デジタルデータとして教育委員会で集計。

### 1 現在の部活動やそれ以外の活動への参加状況等

- 現在の部活動の実施について、半数以上（59%）の保護者は、引き続き「参加させたい」としている。アンケート回答の前後の文面から、他のクラブチームに既に所属しているため部活動に入れないとの回答もあった。（図1）
- 新しい「新潟市の中学生のための地域運動活動・文化活動」になった場合、部活動では59%だった「参加させたい」は29%となり、部活動への参加と比べ、30%低下する。（図2）まだ見通しとして分からない部分があるが、本人の主体性を大事にしたいとの思いから「本人の意思に任せる」との回答が80%と多くを占めている、と考える。

4. 平日の部活動への参加についてどのようにお考えですか。

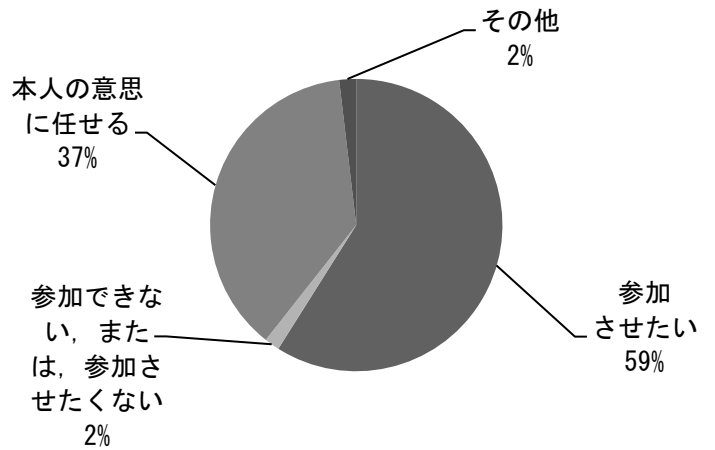


図1

### 2 どのような力を身に付けてほしいか

- 平日の部活動、休日の地域活動ともに、種目の専門的な技術力の向上以上に、内面性（人格形成）に関する力の育成を重視する結果となった。

特に、平日の部活動を通じて生徒の気持ちや性格といった内面の育ちを期待する数値となっている。これは、我が子の性格や日頃の人間関係等を学校や顧問が把握しているからと考える。地域運動活動・文化活動では、「高度な技能や高い競技力」の育成への期待値が、平日の部活動を越えていることから、専門家からの高度な技術や高い競技力の育成を期待する結果となった。（図3）

6. お子さんの休日の「中学生のための地域運動活動・文化活動」への参加についてどのようにお考えですか。

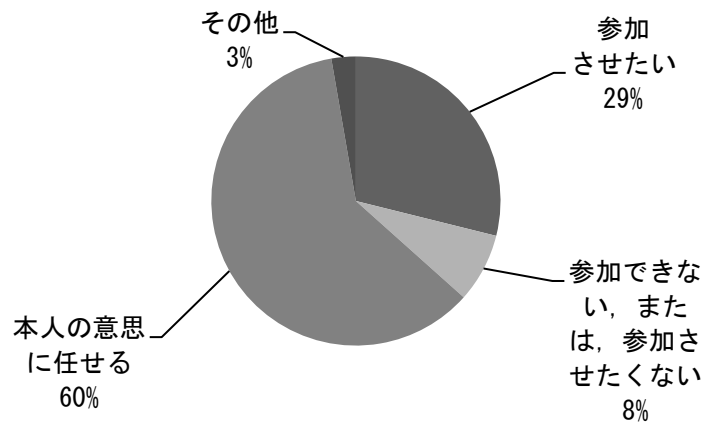


図2

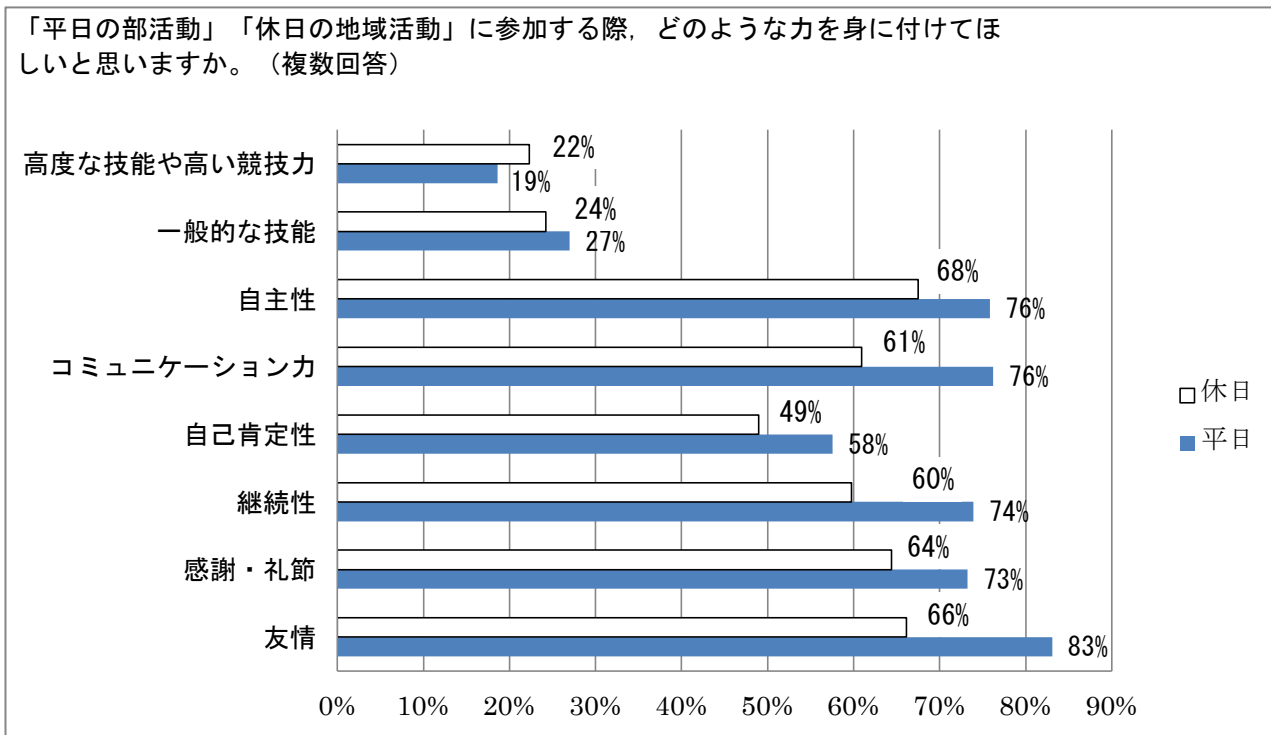


図 3

### 3 地域運動活動・文化活動への期待や心配なこと

○ 保護者の自由記述を、自然言語解析（テキストマイニング）し、図 4 のような結果を得た。

特徴的なキーワードとしては、「活動」「送迎」「指導者」「地域」「負担」「思う」「関わる」「ほしい」等の言葉が高く挙げられた。

部活動ではない、新たな活動になることで、誰が運営したり指導したりするのかといった事柄や、練習場所が学校外になることも想定されるため、送り迎えや当番活動、月謝等の費用面での負担感を感じている様子も窺える。

前後の記述から、「多くの世代と交流するきっかけになってほしい」「好きなことに打ち込めるような取組にしていってほしい」等の声も聞かれている。

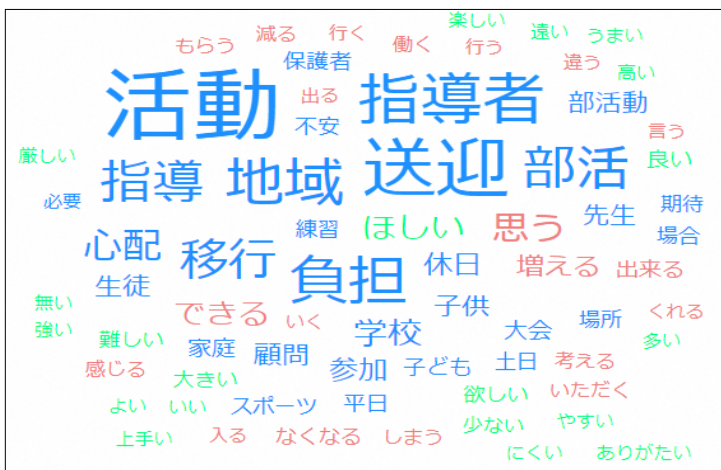


図 4

## 部活動の地域移行に関するアンケート【中学生】結果

◇実施日：令和4年12月8日（木）～19日（月）

◇対象：新潟市立中学校、特別支援学校1、2年生（回答は学校・個人の任意による）

◇実施数：53校 5,314名

◇方法：質問紙（アンケートフォーム）にて回答受付。デジタルデータとして教育委員会で集計。

### 1 現在の部活動やそれ以外の活動への参加状況等

○ 運動部や文化部など、学校の部活動に所属している生徒は4,613人（87%）。

○ 部活動に所属していない生徒は701人（全体の13%）。そのうち396人は、部活動以外の活動（クラブチームや習い事など）を行っている。（図1）

○ 学校の部活動以外の団体等で、スポーツや文化活動をしているのは1,700人。（図2）

○ 部活動にも、地域の活動や団体にも所属していないのは303人（5.7%）である。本市の多くの生徒は、どこかに所属し、運動や文化活動を行っている。

○ 学校の部活動や、学校外の活動のどちらにも参加している生徒は、1,287人。このうち、「新たな地域運動活動・文化活動に、参加したい」54%、「参加したいと思わない」15%、「分からない」31%だった。

○ 学校の部活動にも、学校外の活動にもどちらにも参加していない生徒は305人。このうち、「新たな地域運動活動・文化活動に参加したい」17%、「参加したいと思わない」29%、「分からない」54%だった。

地域運動活動・文化活動については、部活動やそれ以外の活動に参加している生徒の方が参加を望む傾向があり、期待が高いと言える。

○ 生徒が部活動に入部している理由は右図の通り。半数以上の生徒が「友達と一緒に楽しみたい」（55%）と考えていて、次いで「競技力や技能を伸ばして上手になりたい」（40%）との回答が多かった。（図3）

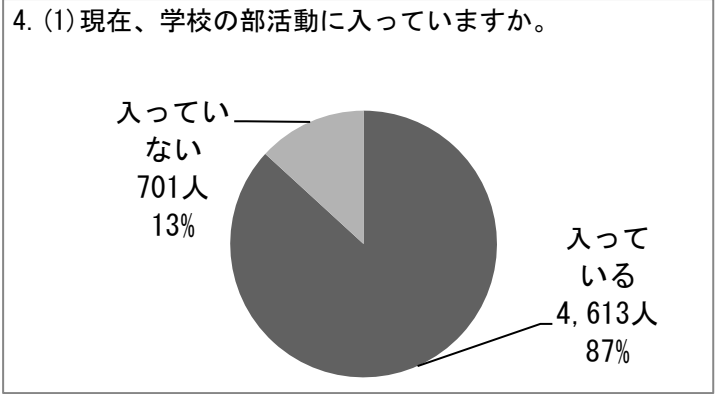


図1

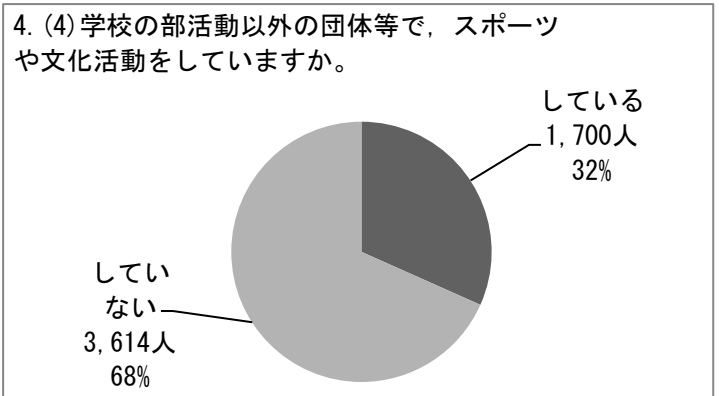


図2

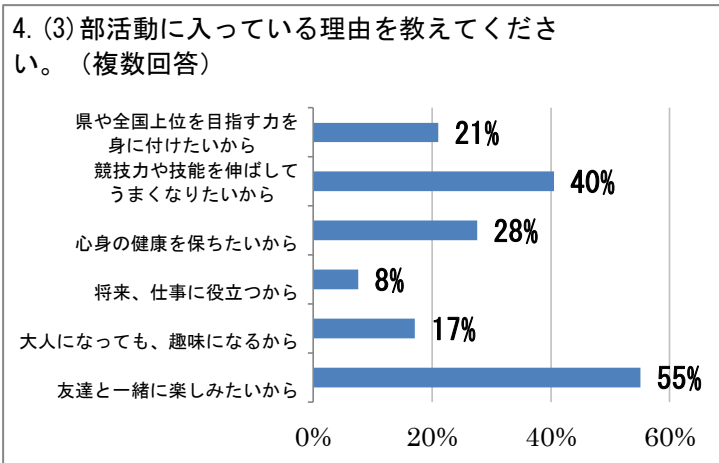


図3

スポーツや文化活動を行うとき、どのような所属や立場で練習に参加していますか。（単位：人，複数回答）

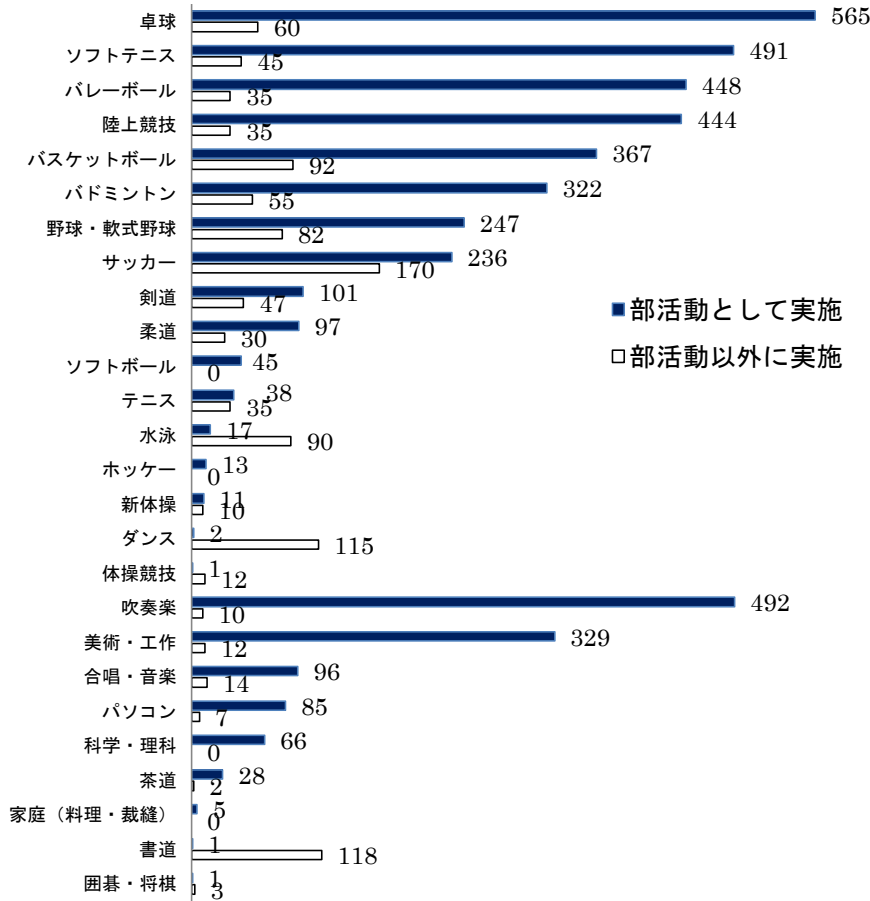


図 4

- 様々な種目や活動に、部活動やそれ以外の活動（クラブや習い事）として参加している生徒が多い。（図 4）
- 特に、卓球、ソフトテニス、バレーボール、陸上競技、バドミントン、吹奏楽、美術・工作等は部活動としての活動が大きい。
- サッカーやバスケットボールは、部活動としても行われているが、クラブチーム等の活動も盛んと言える。
- 水泳やダンス、書道等は、幼い頃からクラブやチームに所属したり、教室に通ったりする傾向があり、これらの種目や習い事のように、部活動以外の取組で熱心に行われているものもある。

2 新潟市の中学生のための地域運動活動・文化活動について

5. (1) 地域運動活動・文化活動に参加したいと思いませんか。

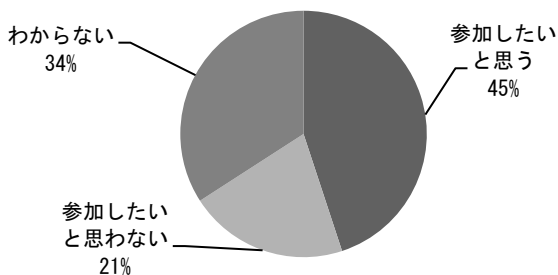


図 5

5. (4) 地域運動活動・文化活動では、どれくらいの技能レベルを目指したいですか。

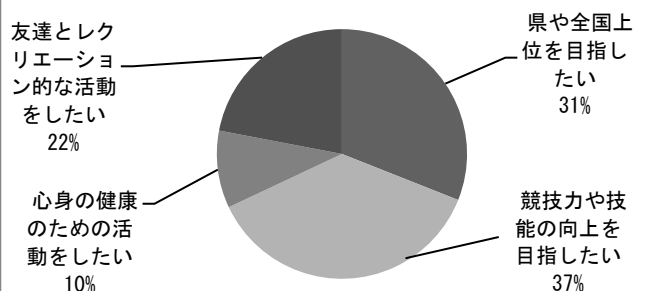


図 6

○調査した生徒のうち、約半数（45%）の生徒が、新潟市の中学生のための地域運動活動・文化活動

に参加したいと考えている。その多くは、部活動や部活動以外の種目や文化活動を行っている生徒で、さらに技術を高めたい、違うことにチャレンジしてみたいとの思いがある。(図 5、6)

○ 「地域運動活動・文化活動に参加したいと思う」と回答した生徒が、どのような種目や文化活動をしたいか回答した結果は以下の通り。(図 7、8)

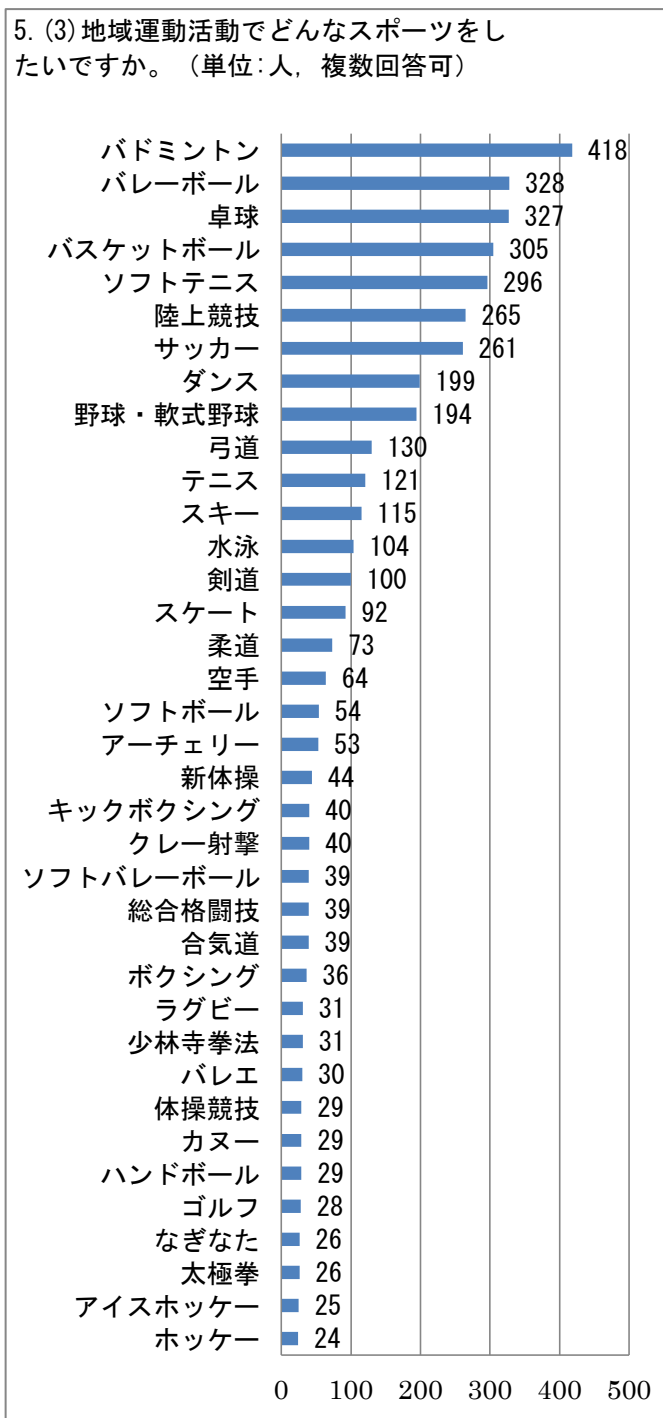


図 7

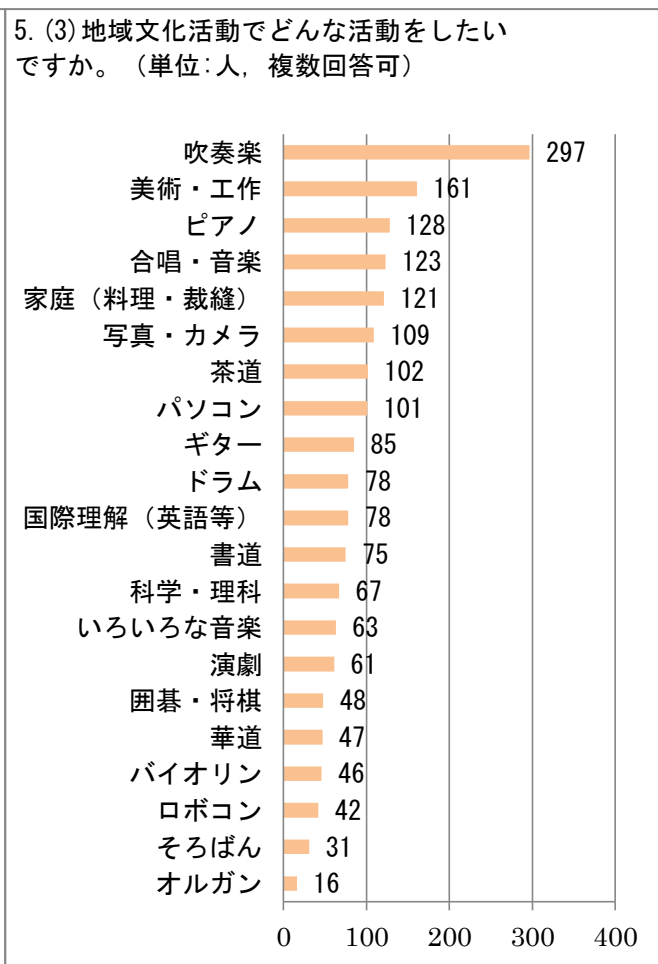


図 8



- 「地域運動活動・文化活動に参加したいと思う」と答えた生徒の自由記述を、自然言語解析（テキストマイニング）し、図9のような結果を得た。

特徴的なキーワードとしては、「専門」「交流」「技術」「教わる」「関わる」「教える」「上手い」「楽しい」等の言葉が高く挙げられた。

部活動ではない、新たな活動の中で、大勢の人や専門的な指導者との関わりの中で、自分の技術を高めたり交流を深めたりしていこうとする姿がイメージされる。

- 上記とは反対に「地域運動活動・文化活動に参加したいと思わない」と答えた生徒の自由記述を、同様に解析したところ、図10のような結果となった。

特徴的なキーワードとしては、「休日」「部活」「休む」「教わる」「めんどくさい」等の言葉が高く挙げられた。

前後の文面から、生徒の中には、既に部活動ではない様々な活動に参加しているため、新しい地域運動活動・文化活動に参加することができないという回答も多かった。

ピックアップされたキーワードのように「面倒だから」という理由も散見された。しかし、部活動の地域移行に関しては、こういった「やらない」を選択することも重要な観点であり、やりたくなったときにいつでもやれる場所があることが、市としてのスポーツや文化活動の環境を整理する重要な視点と捉える。

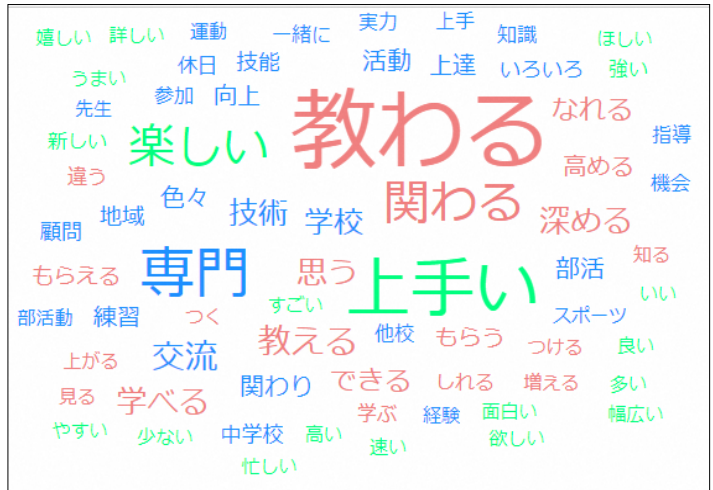


図9

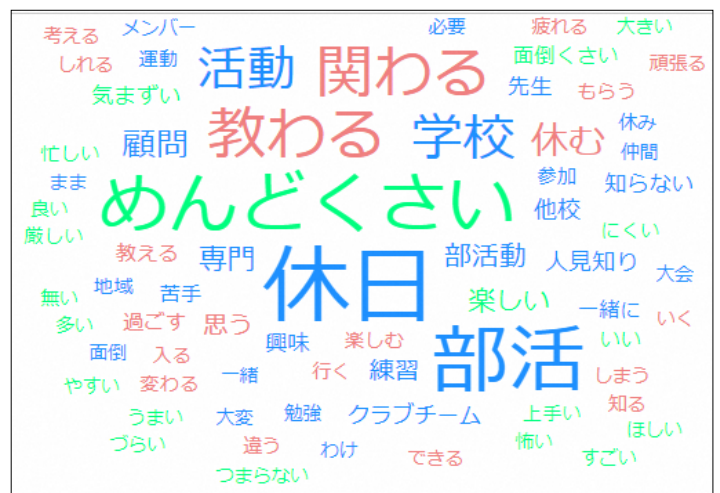


図10

# 新潟市の中学生のための地域運動活動・文化活動

～生徒自身の「やりたい」という思いの実現に向けて～

新潟市教育委員会

令和2年9月に文部科学省等は「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」を示し、令和5年度から休日の部活動を段階的に地域に移行すること、また、令和4年12月には令和5年度から令和7年度までの3年間を改革推進期間として、地域の実情に応じて体制の整備等を進めることとしました。

これを受け、新潟市では、令和8年4月からは休日の部活動を行わず、中学生が「やりたい」と感じるスポーツや文化芸術活動に主体的に参加できるようにしていきます。そのために、学校と地域、教育委員会、市長部局が連携しながら準備を進めています。令和5年度には複数のモデル事業を実施し、今後、市内の全ての学校の休日の部活動が地域に移行する際の参考となるよう、検証を進めていくこととしています。

市立中学校の

部活動の段階的な地域移行に向けた見通し

R4.4 — R5.4 — R6.4 — R7.4 — R8.4

グッドスタートのための3年間

休日の部活動



(段階的に地域移行)



新潟市の中学生のための  
地域運動活動・文化活動  
(休日の部活動は行いません)

将来的には平日の地域移行も視野に。

期待される効果

- ・自ら選択し、判断し、行動する**自主性・主体性が育ちます。**
- ・多様な経験・価値観にふれて**コミュニケーション力が育ちます。**
- ・楽しさや喜びを体感して**自己肯定感が育ちます。**
- ・専門的な指導を受けることで**技術が向上します。**



市立中学校1・2年生保護者あておたより（一部抜粋）

## 休日の地域クラブ活動

【位置付け】学校と連携して行う地域クラブ活動  
(法律上は社会教育、スポーツ・文化芸術)

■地域の多様な主体が実施。学校は、活動方針、活動状況や生徒に関する情報の共有等を通じて連携。

運営団体・実施主体	①地方公共団体（※複数地方公共団体の連携を含む） ②多様な組織・団体（総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、体育・スポーツ協会、競技団体、アパーム、民間事業者、大学、文化芸術団体、地域学校協働本部、同窓会等）
指導者	地域の指導者（一部教師の兼職兼業）
参加者	地域の生徒（※他の世代と一緒に参加する場合を含む）
場所	学校施設、社会教育施設、公共のスポーツ・文化施設、地域団体・民間事業者等が有する施設
費用	可能な限り低廉な会費＋用具、交通費等の実費
補償	各種保険等

地域活動への移行後のイメージ  
(スポーツ庁・文化庁HPより)

## 社会の状況が変わります！

新潟市でもこのまま少子化が続くと、15年後には今の中学生数の70%を下回ります。区によっては半分ほどになることが想定されています。

今後の生徒数や顧問数を考えると、今の段階から、新しい環境を整えていく必要があります。

## 指導者が変わります！

地域運動活動・文化活動の指導については、活動を運営する団体が任用する地域等の指導者になります。この中には、休日の指導を希望する教職員も含まれます。

大会等に出場する場合には、指導者に一定の資格を求める種目もあるので注意が必要です。



## 大会等への参加形態が変わります！

日本中学校体育連盟は令和5年度から、学校を単位としない、地域のチームも全国中学校体育大会に出場できるように大会参加規程を改訂しました。

また、全日本吹奏楽連盟も、中学生が主体となって所属する地域の吹奏楽団もコンクール等に出場できるように参加条件を見直しました。

詳細については各団体のホームページ等で確認してください。

## 生徒の熱い気持ちは変わりません！

市内の生徒を対象としたアンケート調査の結果からは、新たな活動の中で大勢の人や専門的な指導者との関わりの中で、自分の技能を高めたり交流を深めたりしたいという回答が多く見られました。

これまで、全国の公立中学校教員は、平日の放課後や休日に部活動指導に当たってきました。休日の部活動が地域に移行することで、これまで部活動指導に充てられていた時間は、生徒とのより丁寧な面談や日々の授業準備等に充てられるなど、教員が本来取り組むべき業務に注力できる体制が整えられます。

